

よろこび

日蓮宗 顕聖会
本山 妙顕寺
長音山 本誓寺

『6N1J』二十八

貫首 齊藤 日軌

南無妙法蓮華經と朝に祈り、夕べに感謝する日々です。このありがたいお題目その本質をきちんとしてらえ自分も納得し、人にも伝えたい。日々南無妙法蓮華經で生活を明るく楽しくしたいものです。世界中の人々に納得していただき、お題目を唱えていただく明るい生活を送っていただきたい。それには、お題目の本質、根本理念をきちんと捉えねばなりません。日々そのことを考えていると、妙法蓮華經の妙法とは、正しい法とが蘇生の法とかいろいろの意味はありますが、妙法とは存在の根源、宇宙の森羅万象を顕し続けるものであると云う事に思いが至りました。

六月六日の仙台市幸勝寺さままで行われた本山会にて、立正大学の恩師で大本山本願寺の貫首様伊藤瑞叙親下にお会いしました。親下はいつも蓮教を熱く私に語ります。伊藤親下も妙法のことをサンスクリット(インド古代語)でサツダルマというがそれはそのように存在し続けるもの、全てを成り立たせているものだよと熱く語ってくださいました。



みおしえ

仙台的の本山幸勝寺さんで六月六日七日の日程で本山会が開催されました。本山会には、日蓮宗の各本山の貫首様が集まり、先師の法要を行います。これからの日蓮宗の貫首様と本山会の活動を協議する会です。毎年各本山の貫首様は異体同心に活発に議論されます。孝勝寺さんには、口蓮宗の最北の本山です。開山は、中老僧一乗阿闍梨日門上人で、最初、大仙寺として開かれ、まじった。仙台の名門は、大仙寺に由来するともいわれ、祈願したところ、伊達政宗公が陣する際に、大仙寺で戦勝を祈願したと、大仙寺から「全勝寺」と改めました。後、二から、宗号を大仙寺から「全勝寺」と改めました。日迅大姉の代、宗公を正室、振子姫の法名「孝勝院殿秀岸日迅大姉の孝勝院を以て現在の孝勝寺としました。伊達家十八代当主伊達泰宗瑞鳳殿資料館の館長がいろ座ってお話くださいました。伊達政宗公は、死後大きな骨格そのままに瓶が開けられたとき、正宗公は「伊達泰宗産は、その姿を拝見し、南無妙法蓮華經と唱え、正宗公に墓所の格護とご供養を誓い、東京より仙台に戻されました。今、先祖の活躍されていきます。ご先祖の墓所を守り南無妙法蓮華經と唱え先祖の理想を継承実現しましょう。

心の言葉
ご先祖の墓所を守り
南無妙法蓮華經と唱え
先祖の理想を継承実現
しましょう

